

ペテルブルグMAEコレクションのアイヌ語資料

中川裕

本稿は1995年夏および96年夏ののべ2ヶ月間にわたり、ペテルブルグのロシア科学アカデミー人類学民族学博物館（通称MAE）において行われた、文部省国際学術研究「在ペテルブルグ博物館アイヌ資料の民族学的研究」（研究番号 07041003 研究代表者 荻原眞子）の調査結果に基づく報告である。同調査の概要およびアイヌ語を除く調査資料に関しては CII6-アイヌプロジェクト調査団編『ロシア科学アカデミー人類学民族学博物館所蔵アイヌ資料目録』（1998、草風館）に記されているので、そちらを参照していただきたい。本稿はその調査で得られたアイヌ語資料を一覧し、その個々の語形について現時点における暫定的な解釈を提示するものである。

I. MAEコレクションにおけるアイヌ語資料の性格

MAEコレクションのひとつの特徴は、収蔵品のアイヌ語名称に関する情報が非常に豊富であるということである。その情報の記録形態は基本的に次の4種類に分けられる。

- 1) 台帳で収蔵品名として上げられている名称
- 2) 台帳に注釈として書き込まれた文章中にある情報
- 3) 収蔵品に添付されたラベルに書き込まれている情報
- 4) 収蔵品そのものに書き込まれている情報

この4種類のどれかの様式でアイヌ語の情報が書き込まれているものは、約611件におよぶ。これはMAEの収蔵物として確認できたものみの数であり、他の博物館に移管されたり、所在不明だったりして、台帳にのみ記録されているものを入れれば、もっと大きな数字になる。

登録番号別の件数を一覧にして次に挙げる

登録番号	収集者	収集年代	主な収集地域	件数
138	ポリヤコフ	1882	不明	1
202	スーブルネンコ	1890	サハリン	18
345	グリゴリエフ	1897	北海道	14
656	シュテルンベルグ	1902	サハリン	3
700	ピウスツキ	1903	サハリン西海岸（真岡村） サハリン東海岸	268
809	ヴォズネセンスキー	1840	千島	6

811	グリゴーリエフ	1879	北海道	11
829	ピウスツキ	1904	サハリン東海岸	182
837	ピウスツキ	1904	サハリン	13
839	ピウスツキ セロシェフスキ	1903	北海道（敷生と記されたもの多し）	90
2803	ピウスツキ	1914	不明	5

同コレクションは全体にサハリンからのものが多く、北海道のものにしてもそのすべてが明治期のものであるという点で、日本の博物館の収蔵物からは得られない貴重な情報の源であることは言を俟たないが、特にヴォズネセンスキーの資料（No.809）は、1840年という非常に早い時期のしかも千島のものであり、とりわけ貴重な資料であるといえる。

アイヌ語の情報が一番豊富なのはプロニスワフ・ピウスツキ（Bronistav Pitsudski）の収集によるものであり、全体の91パーセントを占める。そのNo.700のコレクションでは登録件数の85パーセント、No.829でも84パーセントに、アイヌ語に関する情報が記載されている。ただし、これらの資料は、採録者、採録地の違いによるものはもとより、記録の形態においてもその性格は一様ではない。言語学的な資料として考えた場合の、記録形態別の性格付けを以下に記す。

1) 台帳に収蔵品名として上げられているものは、アイヌ語資料に関する限り基本的に収集者自身が記録したものをそのまま書き込んでいるのであり、台帳に記録する時点の管理者がその資料を統一的な分類基準にてらして割り当てた名称ではないと考えられる。ただし、台帳そのものに収集者自身が記入したとは考えられず、また台帳は何回か転記されていると見られるので、記入の際および転記の際の誤記が予期され、実際に誤記と考えられるものがいくつもある。そのことは、後述の3) および4) との食い違いによって、確認することができる。

たとえば、700-276は台帳 *ičásyke-ni* に対して本体の表記は *irásyke-ni* であり、実際には本体表記通り *iraske nii* 「割り木」だと考えられる。また829-395は台帳 *etasyka inoka* に対して本体の表記は *etasyne inoka* であり、これも実際には *etaspe inoka* 「トドの像」だと考えられる、等々。

ただし、3) 4) の情報が得られるものは限られており、アイヌ語に関する情報が1) のみでしか得られない資料も多い。そういう意味において量的な点でいけばこの1) がアイヌ語に関する一番の情報源である。

2) 収蔵品名の他に台帳にさまざまに書き込まれた情報は質的な意味で最も問題の大きなものである。なぜならそれらの注記の多くは収集者自身ではなく、収蔵品を整理した人間の解釈によるものであると思われるからである。それは台帳の記載に付されている署名によって確認できる場合もある。たとえば、ピウスツキの収集資料に関する台帳には、シュテル

ンベルクの書き込みがよく見られる。シュテルンベルクシュテルンベルクの書き込み自体は研究史的な資料として貴重であるとも言えるが、所詮は彼の分析結果であり、アイヌ語としては一次的な資料ではない。場合によっては、この記述を参照しないほうがよいようなものもある。たとえば、700-282a6 は皮なめし用の器具であり、капутані мукара というアイヌ語名称が付されている。капутаніは kapu 「皮」 ta 「を叩く」 nii 「木」と解釈されるもので、まさしくこの器具の用途を表わした名称である。ところが台帳には капу-皮、танні-白樺とされている。これは明かに誤解である。なおかつ、調査者の一員である古原敏弘氏はこの器具の材をエンジュと判定しており、実物の分析結果とも合わない。

このような点からいけば、この2) に当たる情報は無視すべきであるということになるのだが、問題は収集者自身の記述としか思われぬような情報が注記として書き込まれている場合もあるという点にある。

たとえば、829-345a・6 という資料は名称としては кабарю 「kariw カレイ」となっているが、実際には釣針 (a) と糸を巻き付けた板製の釣竿 (6) のセットであり、実態を表していないことは明白である。一方、収蔵品本体には各所に書き込みがあり、釣針に ah-on 「ah hon 釣針の胴部」、竿の一端に кабарю-a 「kariw ah カレイの針」、もう一端に тусьні 「tusni 釣竿」とある。これはピウスツキ自身の書き込みと思われ、これがカレイ漁用の釣り針と竿のセットであることを明確に示している。ところが注記にはさらに、a) іда-тусь-ні 「ita tusni 板製の釣竿」、b) ah-on 「ah hon 釣針の胴部」、в) ah-ito 「ah ito 針糸」とあり、本体に書かれているのはまた別の情報が書き込まれているのである。これは収蔵記録者(たとえばシュテルンベルク)によって付け加えられたものとは考えにくく、ピウスツキ自身の手で書かれたものである可能性が感じられる。

このように情報源が明記されていない注記についてどう考えるかは、今後の大きな問題であるが、それ以上に今回の調査で上記1) 2) に共通する大きな問題として挙げられるのは、我々が台帳を直接精査したり、あるいはコピーをとることが許可されなかったという点である。基本的に我々に与えられた情報は、ロシア人研究者が台帳からさらに転記したものである。アイヌ語そのものが彼らには類推の利かない言葉である上、台帳は手書きであるので、この時点での誤記は十分に予測できた。筆者は誤記ではないかと思われる表記については、できるかぎり台帳のコピーと突き合わせる作業を行った。しかし、上記のように台帳そのものにおいてすでに誤記だと思われるものもあり、判読が困難なものもあり、その上、その作業は一項目ごとに担当のロシア人研究者の許可を得て行わなければならないという制約もあり、十分に確認ができたとは言いがたい。機会があればもう一度完全な調査を行わなければならない点である。

3) 収蔵品につけられたラベルに書き込まれている情報は点数としてはそれほど数多くないが、これによって1) の誤記を確認できるケースがある。たとえば、829-534 はオヒョウの鞣皮の標本であるが、台帳には куросьпэ-от と書かれている。このままではほとんど意味不明であるが、本体に添付されたラベルには、курасьпэ-ат と書かれている。kurasne は「黒

い] at は「オヒョウの皮」と考えられ、「黒いオヒョウの皮」と解釈できる。ロシア語の名称も Черноватая кора 「黒っぽい樹皮」となっており、この解釈でよいことを裏付ける。キリル文字の а と о、н と п は手書きでは紛れやすく、台帳に転記する際にこのような誤記が起こることを、このラベルが証明している。また同時に、このラベルが収集者のピウスツキ自身の手によって付されたものであることも示唆している。

4) 収蔵品そのものに鉛筆書きで書き込まれている情報はピウスツキの資料、特に模型として作られたと思われるものに、数多く見られる。ただし、ものによっては擦れたり汚れたりして、かなり判読の困難なものもあり、ロシア人研究者の協力も得て時間をかけて検討したが、納得のいく結論のでなかったものもある。これらの記載は文字からしてもピウスツキ自身の手で書き込まれたものと思われ、資料的な信頼性としては最も高いものである。

II. 情報の価値

これらのアイヌ語による情報には、北海道のものもサハリンのものも含まれているが、これまでの記録の量を考えれば、サハリン方言資料の重要性は非常に大きい。しかも、ピウスツキの資料に関しては採集地がかなり特定されているものが多い。たとえば、No. 700 のコレクションの多くは西海岸真岡のものであることが明記されている。そして、それらの名称がその名を与えられているものとセットになっていることによって、アイヌ語学にとっても色々な示唆を与えてくれる。

たとえば、829-509 kiro цясі はサハリンの資料であるが、長さ 44.5 センチ、高さ 6 センチ、幅 2.2~1.1 センチ（上に行くほど薄くなる）の飾りのついた板であり、ロシア語による名称は「炉の火から靴を保護する小板」となっている。kiro はサハリン方言の「靴」だが、問題は casi である。casi は casikot として各地にその痕跡を残しているものであり、「砦」「館」などと訳され、また本来の意味は「柵」だとも言われている。英雄叙事詩の中にもそれについての描写が出てくることはよく知られている。しかし、casikot は casi の「跡」であり、casi そのものではない。また、英雄叙事詩の中の casi も言葉で伝えられているだけのものであり、実際の casi を見て語っている人はいない。すなわち、casi と名づけられているものの現物を目にするのできる資料というのは、これが唯一のものではないかと思われるのである。これが実際に「炉の火から靴を保護する」という用途のものであるとすれば、casi という語の持つ意味を明確化させる有力な資料になると考えられる。

また、特にピウスツキの資料中には、わざわざ博物館に収蔵するために作られたと思われる模型がたくさんあるが、その中にはあちらこちらに部分名称が書き込まれているものがある。民具の部分名称に関する情報は元来あまり多く無いことに加え、その名称のつけられていた部分や形状が明瞭に分かるという点で、これらは重要な資料であると言えることができる。700-113 もそのひとつで、木で作られた刀の刀身の模型であるが、鎗筋や刃文などといった部分の名称までが書き込まれており、他に類を見ない第一級の資料である。

しかし、アイヌ語としての資料価値もさることながら、これらの情報が意味を持つのは、収蔵品そのものの機能の分析に関する役割に関してである。たとえば、ロシア語ではほとんど説明のない資料が、アイヌ語名称によって用途を推測できるケースが多々ある。

839-220 もそのひとつである。台帳におけるロシア語での名称は *inau* 「イナウ」 だけであるが、アイヌ語名称は *камуй коро фуци ахыйка inaw* (*kamuy kor huci ahuyka inaw*) となっている。*ahuyka* が *uhuyka* であるとすれば、このアイヌ語名称は「火の神 (に) 燃やすイナウ」と解釈できるが、それ以上の情報は台帳からは得られない。しかし、イナウ本体の胴部に *камуй коро фуци ахыйка inaw тасум отта ааси тусакусу ан inaw* という記載がある。これは「*kamuy kor huci uhuyka inaw tasum or ta aasi tusa kusu an inaw* 「火の神 (に) 燃やすイナウ。病気の時に立てて、病を治すためのイナウ」という解釈が可能である。

また、839-230a は、セツパをキケで結びつけた珍しい棒イナウであるが、ロシア語での名称は「樹皮を剥いでいない棒、金属飾板」となっており、実際の形状そのままを描写したものに過ぎない（これは採集者のピウスツキではなく、誰か他の人物によって書かれたものであると推察される）。一方アイヌ語名称は *поно нуса, сюту inaw* となっており、*pon nusa, sutu inaw* 「小さいヌサ、棒イナウ」と解釈できる。北海道の採集品（白老か沙流）であることを考えあわせると、ヌサコロカムイのヌサに立てられるものあることが推察できるが、やはり用途はわからない。しかし、イナウ本体の脚部には *н__ кам__ нувап кусу __* とある。（__ は読み取れなかった箇所を指す）。このうち、*nuwap kusu* は「出産のために」と解釈でき、このイナウが安産を祈願して立てられたものであることが推測されるのである。

829-450a~г は、長短それぞれ 2 本ずつ 4 本でひとつの番号が与えられ、両端に同じような削りかけがつけられた、どちらが頭ともつかぬ不思議な形状のイナウである。そのロシア語名称としてはやはりただイナウとしか記されていない。ところが、そのうちの一本の側面に *импотенция* 「インポテンツ」というロシア語の書き込みがあり、台帳にはアイヌ語名称として、*цимонте inaw* という記載がなされている。*цимонте inaw* は *cii* 「ペニス」 *monte* 「立たせる」 *inaw* 「イナウ」と解釈でき、なおかつ次の資料番号である 829-451 は *циренте inaw* となっており、*cii* 「ペニス」 *rente* 「沈める」 *inaw* 「イナウ」と解釈できる。これらを考え合わせると、この 829-450 と 451 のイナウは、それぞれインポテンツ治療と、その反対の事態を解決するためのイナウであることが予想できるのである。

このように、これらのアイヌ語による情報は、アイヌ語そのものの資料として貴重であるというばかりでなく、それがなければあるいは推測不可能であるような、収蔵品の機能について重要な手がかりを与えるものなのである。

Ⅲ. 資料一覧

以下に、アイヌ語の情報が何らかの形で書き込まれた 611 件の資料を一覧表にして掲げる。各収蔵品の形状、材質などについての詳しい情報は前述のカタログに写真入りで掲載さ

れているので、そちらと合わせて読んでいただきたい。データは次のような形式で表示されている。

登録番号	台帳記載名称	アイヌ語 1	解釈 1
		アイヌ語 2	解釈 2

登録番号には台帳にあるコレクション番号と資料番号を記した。この番号によってカタログとの対照が行なえる。

台帳記載名称には、台帳に記録されているロシア語での名称を和訳したものを記した。和訳は荻原眞子氏による。

アイヌ語 1には前述のアイヌ語情報のうち、台帳に収蔵品名として記載されているものを記した。ただし、ただinay「イナウ」とだけあるものについては、台帳上で整理するための名称として、実際の記録とは無関係につけられている可能性も高いので、除外した。表記は台帳の記載をそのまま写したが、語頭の大文字だけはすべて小文字で表記した。

解釈 1には、**アイヌ語 1**の解釈を記したが、現在のところまだ暫定的なものであり、不明なものも多い。推定される語形の音素表記を挙げ（ただし喉頭破裂音は表記しない）、その意味を記したが、その語形の推定にあたってはこれまでの記録を参考にし、採集地域が判明している場合にはなるべくその地域での方言形に合わせた形で表示することを原則とした。たとえば、サハリンでの採集例に関しては、長母音・単母音の区別を加え、存在すると想定される音節末の *h* を加えるなどした（例：700-14 ськаремба → sikaaripah、700-2 a манеку-ку → mahnekuh-kuh）。ただし、サハリンでの採集例であっても、音節末の *-p*、*-t*、*-k* などがキリル文字の表記において明示されている場合には、それを *-h* に書き換えることは行わなかった（例：700-46 кемоп → kemop）。長母音・単母音に関して当時の研究者は区別して表記していなかったし、*h* の聞き落としはごく一般的にあったことだと思われるが、*-h* を *-p*、*-t*、*-k* に聞き違えるということは起こり難いと考えからである。

このような事情から同じ地域の同種類の資料に対して、異なった語形が導き出されることがありえる。たとえば同じNo.700の「被りもの」に対する語形でも、*hetom moi6* に対しては *hetomuyep*、*hetomoi* に対しては *hetomuyeh* という語形を当てているが、これは意図的に行っていることである。

解釈ができないものについても、とりあえずキリル文字表記をアイヌ語の音韻体系に合わせて転記し、意味については「不明」と記したが、部分的に解釈できるものについては *pito sakusi* 「?しゃくし」のように不明部分に?を付した。また、解釈に自信の持てないものについては (?) のようにカッコ内に?を入れて示した。

必要と判断した場合には、【Словарь : гекем 紐を引っぱる】のような形式で参照例を示した。ただし、*ikunis* 「捧酒籠」などの比較的よく知られている語についてはわざわざ記していない。参照文献と略号は以下の通り。

【Словарь】 Добротворский, М.М. (1875) *Аинско-Русский Словарь*, Казань

【Bear】 Pitsudski, B (1914) On the Bear Festival of the Ainu on the Island of Sakhalin,

【List】 Pitsudski, B (1988) List of Objects Sent to the Vladivostok Museum of the Society for the Study of the Amur Region on the S/S "Mandzhur"

(Pitsudski の資料については、Majewicz, A.F. ed.(1994) *Collected Works of Bronislav Pitsudski*, IIEOS (preprint) を参照した)

【分】 知里真志保 (1953) 『分類アイヌ語辞典 植物篇』および (1962) 『分類アイヌ語辞典 動物篇』日本常民文化研究所 (平凡社『知里真志保著作集』別巻1を参照)

【方】 服部四郎編 (1964) 『アイヌ語方言辞典』岩波書店

【住】 山本佑弘 (1970) 『樺太アイヌ 住居と民具』相模書房

【樺】 西鶴定嘉 (1974) 『樺太アイヌ』みやま書房

【民】 北海道開拓記念館編 (1973~1975) 『民族調査報告書』(I、II、IIIはそれぞれ「資料編I」「II」「III」、総は「総集編」)

【生】 山本佑弘編 (1979) 『樺太自然民族の生活』相模書房

アイヌ語2と解釈2の欄は、前述の2)、3)、4)すなわち、台帳に付加情報としてアイヌ語が書かれている場合や、ラベルあるいは収蔵品そのものにアイヌ語が書き込まれている場合にのみ設けられている。各々の情報源は次のように表記されている。

台帳：アイヌ語名称以外の台帳での記述

ラベル：添付ラベルの記述

本体：資料そのものに直接書き込まれている記述。必要に応じて書き込まれている部分を指摘している場合もある。

なお、アイヌ語2中に日本語で表記されているものは、原文がロシア語であるもの(すなわちアイヌ語の情報ではなくロシア語による資料の解説であるもの)を表している。

解釈2はアイヌ語2の解釈であり、その表記の原則は解釈1に準ずる。

登録番号	台帳記載名称	アイヌ語 1	解釈 1
		アイヌ語 2	解釈 2

138-66	飲酒の際に髭を持ち上げる籠	игуни	ikunis 捧酒籠
	本体： игуни		同上
202-18	ユルタの模型	тисе	cise 家
202-25	イラクサの繊維	хай	hay イラクサ
202-28	首輪の鈴のついた犬の曳綱	нусотусь	nuso tus 犬橋の綱
202-30 /3	家で犬をつなぐ首輪	ату	atu 紐
202-35	手動ドリル (錐)	икиса	ikisah 錐
202-46	女性用着物	пен-кая	pen? kaya ?魚皮衣
202-49	男性用着物	ахтуси	ahtus あるいは ahrus 厚司
	台帳： オヒヨウ (опивни) の内皮の繊維		opiwni オヒヨウの木
202-54 a・b	靴	камуй-киро	kamuy kiro アザラシ製の靴
	台帳： 内にはスゲ (munкиро) 類の柔らかな草		kiromun かと思われる【分： kiromun ワタスゲ (白浦、真岡)】
202-65 a・b	袖口止め	муйсна	moysinah 手甲【民Ⅱ：モイシナハ 腕まき】
202-80 a・b	煙管	сума-кисирн	suma kiseri 石製のキセル
202-81 a・b	鞘入り曲りナイフ	макири	makiri 小刀
202-82 a・b	直刀	макири	makiri 小刀
202-86	帯	кух	kuh 帯
202-87	帯	аникух	aane kuh 細帯
202-95/2	銛	китэ	kite 銛
202-99	弓	ку	kuu 弓
	台帳： 弓は (кунгани) という木製		kunkani 不明
202-100 /3	矢	ай	ay 矢
	台帳： カラマツ (куйни) の柄。矢羽はワシ (онепу) の羽		kuy ni グイマツ onnep または onnew オジロワシ【分： onnew (トンナイ；タラントマリ)】
202-107 /4	日本製網。見本	я	yaa 網
345-14 /2	荷負縄	тары	tar 荷負い紐
	台帳： тарыпé тара-ці		taripe 荷負い縄の額に掛ける部分 taraci 荷負い縄の紐部分

345-14 /2	荷負縄	тары	tar 荷負い縄
345-16	オーバーシューズ	ципкири	cep ker 魚皮靴
345-18	「tskisani」の木片	цкисани	cikisani ハルニレ
345-19 /2	かんじき (対)	тешьма, тесима	tesma かんじき
345-19 a・ б	かんじき	тешьма	tesma かんじき
345-22	糸玉		
	台帳：(обиу-ни) という木の繊維製		opiwni オヒヨウの木
345-23	真田紐		
	台帳：обиу-ниの樹皮の糸		opiwni オヒヨウの木
345-24/3	前掛け		
	台帳：この前掛けの原票には(обиу-ни)の樹皮繊維製		opiwni オヒヨウの木
345-24/3	前掛け		
	台帳：繊維は обиу-ни の樹皮から		opiwni オヒヨウの木
345-26 /2	被物	кондзи	konci 頭巾
345-27	晴れ着	цкара каропе	cikarkarpe 刺繍衣
345-28	着物	аттуси	attus 厚司
345-31 32	タバコ入れとそれを帯に固定するための板	тамбако-пу-сирай	tampakuop タバコ入れ、siray 不明
656-45	イナウ		
	本体脚部：ч.нубури		c.nupuri ?山
656-56	イナウ	тепан	tepan 不明：実物はクマ送りの際にクマに被らせる頭飾り (iso kiraw)
656-58	熊神の像	ишу	iso 熊
700-1 /2	五弦琴	тонкари	tonkori トンコリ
700-2	鞘入り女性用ナイフ	епіріке	epirikeh 女性用小刀
700-2 a	ナイフ付き女性用のベルト	манеку-ку	mahnekuh-kuh 女性用帯
700-5	老人の杖	коа	kuwa 杖
700-6	昆布の束	сачь нава́ кара	sas nawa kara 昆布を縄状にしたもの
700-7	帽子	цькап кондзі	cikap konci 鳥の頭巾
700-8	スプーン	пом пера́	pon pera 小さなヘラ
700-8 a	スプーン	пом пера́	pon pera 小さなヘラ
700-9	スプーン	порó пера́	poro pera 大きなヘラ
700-9 a	スプーン	порó пера́	poro pera 大きなヘラ

700-10	スプーン	це эйбы репа	ceh eype pera 魚を食べるためのヘラ
700-11	スプーン	пон касюп	pon kasup 小さいしゃくし
700-11 a	スプーン	пон касюп	pon kasup 小さいしゃくし
700-12 /3	米飯用の大匙	поро касюп	poro kasup 大きなしゃくし
700-12/3	スプーン	поро касюп	poro kasup 大きなしゃくし
700-12/3	スプーン	поро касюп	poro kasup 大きなしゃくし
700-13	魚用の器	чеой нiп	cioyner 食器
700-13 a	魚用の深皿	чеой нiп	cioyner 食器
700-14	米飯用深皿	съкаремба	sikaarinpah 丸型椀
700-15 a	片耳つき皿	съкаремба нi очькi	sikaarimpa nii ociki 丸い木の膳
700-15 б	皿	съкаремба нi очькi	sikaarinpа nii ociki 丸い木の膳
700-16	櫛	ki-pái	kiray 櫛
	本体：表面 кoтoрo 裏面 ceтopo ki-pái		kotoo 表面 seturu 背面 kiray 櫛
700-17	箸	cэмбo кopo cяккa	sonpa koro sahka 角のある箸=角箸
700-19	フォークをしまう箱	сякa oп	sahka op 箸入れ
700-22/2	白樺樹皮のバケツ	сарани	saranis 手提げかご
700-22/2	白樺樹皮のバケツ	сарани	saranis 手提げかご
700-25	シャマンの太鼓	каце	kaco 太鼓
700-26	太鼓のバチ	кацe тeхнi	kaco tehni 太鼓のバチ (tehni < repni)
700-27 /2	竹の口琴	мукунi	muhkun,あるいは muhkuni ムックリ
700-28,29	脂入れ容器	пoрo кyтyрi	poro 大きな kuturi【住：クッテレ 海豹の胃の噴門部】とあるものか？
700-31	熊の給餌用、長い容器	тiаб цeй нiп	ciap 二歳熊【分：カラフトのタライカで成長の段階に応じて次のように言う。ciap 二歳】 cioyner 食器
700-32	お守り	рекутумби	rekutunpe 頸飾帯
700-33	灯明台	сюгудай	燭台 (日本語)
700-33 a	貝殻	аскитек	askitek ホタテガイ【分：asketex (タラントマリ；トンナイ)】
700-34 a	男性用手袋	матбери	matumere 手袋
700-35	アザラシ皮の文様 耳当て	ксяракамy	kisarakamuh 耳覆い
700-38	鞘入り男性用ナイフ	макири	makiri 小刀

	フ		
700-39	冬の帽子	имурех-ка	imurehka 不明
700-40	冬の帽子	сумарі імучежка	sumari imucehka キツネの?
700-41 a	着物	кая	kaya 魚皮衣
700-42	煙草入れと煙管入れ	іnumора (煙草入れ) кісіро мані (キセル入れ)	inumoro 煙草入れ【住：イヌモロ 煙草入 木製長方形の引出し付きの箱】 kiseri omani キセル入れ
700-44	人形	ніпоору	niipooro 木製人形【方：人形 niipooro】
700-45 /2	アザラシ皮の子供靴	пон кіро	pon kiro 小さな靴
700-46	旅行用の針入れ	кемоп	kemop 針入れ
700-47	前掛け	май дарі	maytari 前掛け
700-48	前掛けスカート	онке карі	onke karis ももに回すもの(?) あるいは honekaris 700-224 参照
700-50 a	男性用織物の帯	пара кут	para kut 広帯
700-51 д	イラクサに日本製布きれ(青と赤)を縫いこんだ男性用細帯	ане кут	aane kut 細帯
700-52	ひげを支える籠	мотек коро ікуні	mo tek koro ikunis 小さな手のついた捧酒籠
700-54	ひげを支える籠	кані ума пасю	kaani oma pasuy 金具のついた捧酒籠
700-55	入り江の神へのイナウ	томарі камуї інау	tomari kamuy inaw 入り江の神のイナウ
	本体側面： томарі камуї		tomari kamuy 入り江の神
700-56	イナウ	h(ф)умусеп інау	humsep inaw おたけびを上げる者のイナウ(?)
	本体側面： фумусеп інау		同上
700-57	海神のイナウの模 型	атуї камуї інау	atuy kamuy inaw 海の神のイナウ
	本体側面： атуї камуї інау		同上
700-58	家の背後に立てる イナウ	цесь магусь інау	cise makus inaw 家の裏に立つイナウ
700-59	トド用の銚	текасү	rehkasuh 投げ銚
	台帳：長い竿 (цьпоруні)		cip or un ni(?) 不明
700-61	イナウ	сёбась цьке інау	sopaus kike inaw(?) 上座に立てられる キケイナウ(?)
	本体側面： сёбась цьке інау		同上

700-62 a	イナウ	ундзі інау	unci inaw 火の神のイナウ
	本体側面： ундзі інау		同上
700-63	カラスの羽 (玩具)	етука рап	etuhka rap ハシブガラスの羽。【分： ハシブトガラス (白浦、真岡、鶴城)】
700-65 a	ブンブン独楽 (子供の玩具)	че сінопі, че һецірэ(п)	ciesinohpe, ciehecire(p) それで遊ぶもの =玩具
	台帳： a) чэ-һэцірі(п) - сём ба коронбн ітá - 板 b) ка - 縄 1) 最初、両端を指でもって強く廻す。 скадзіка という。 2) それから両手を近づけたり、離したりする。これを һегим (һеким) という。 3) 板が廻って出る音を һавейи という。 4) 男の子の玩具。		cieheciri(p)-sompa koro pon ita 遊ぶもの 一角のある小さな板か (?) kaa 縄 sikařika 回す hekim 【Словарь : гекем 紐を引っぱる】 hawehe 声、音
700-65 б	ブンブン独楽 (子供の玩具)	че сінопі, че һецірэ(п)	ciesinohpe, ciehecire(p) それで遊ぶもの =玩具
700-66	器を削りぬくナイフ	цірева	【Словарь : чирева アイヌが椀やさじを作るための刃物】。ciřewe(h) なら「曲がっている (もの)」ということで、削りもの用に刃を曲げたマキリを指しているのかもしれない。
700-67	トドの陰茎	етасьпі ці	etaspe cii トドの陰茎
700-68	子供のガラガラ	аську	【Словарь : аськуф 背びれ】と関係あるか? 形状が魚の骨にも似ている。
700-70	昆布 (根か茎)	сись регут	sas rekut 昆布の首 (根本) (?)
700-71	莫菴	пой сёкара	poř sokara 小さなゴザ
700-72 /3・2	莫菴用のスゲの束 二つ	пис цаму́сь	pessamus または peřcamus カサスゲ 【分： カサスゲ pessamus (白浦)、 peřchamus (真岡)】
700-75	壁用の莫菴	сёго тескіф	soho teskeh 莫菴を織ったもの (?)
700-76	スプーン入れ	пейбіб омбі	cořper un pe(?) 食器の入れ物 (?)
700-77	スプーン入れ	пейбіб омбі	cořper un pe(?) 食器の入れ物 (?)
700-78	女性用スプーン	махнеку пера	mahnecuh pera 女性用ヘラ
700-79	縄をなう道具	кісьцё	kisco 不明
700-81	鉄敷	канаські (日本 語 : 西海岸の語) ікароні (東海岸の	かなしき (日本語) ikaroni 不明

		語)	
700-82	日本製の鉄鉤	туреузі	tureusi 不明
700-85	炭を掻きならず棒	ундзи ёты	unci yotu 火の?
700-86	鍛冶のヤットコ	воцін (マウカ村) вахці (東海岸)	wocin 不明 wahci 【Словарь : вахци ヤットコ】
700-87	鍛冶のヤットコ	кудзіко васі	kuci kobasi(?) 【日本方言大辞典 : こばし (やっこ)】
700-88	目打ちのたがね	метьсі	めうち (日本語?)
700-89	柄の無いたがね	такани (真岡) нумі (東海岸)	たがね (日本語) のみ (日本語)
700-90 a	金鎚	тузі	つち (日本語)
700-92	石	канісі	kanis = kar isi 火を起こす石か?
700-93	ふいご	пугі	puki ふいご
700-94	日本のふいご (No.93) 用の筒	пугі цярані	puki cara nii ふいごの口木
700-97	毛皮加工用の揉み 具	тоць, тодзі	つち (日本語)
	本体 : тоць		同上
700-99 /2	トド皮	тыденно тондо	ritenno tonto 柔らかいなめし皮
700-99 /2	柔らかいトド皮 2 片	тыденно тондо	ritenno tonto 柔らかいなめし皮
700-100	トドの厚皮片	іронні тондо	ironne tonto 厚いなめし皮
	台帳 : 皮片に kiro rusь の記載		kiro rus 靴の毛皮
700-101	毛皮付きトド皮	нума-коро тондо	numa koro tonto 毛のついたなめし皮
700-104	鍋吊りの鉤	амбахно опні	am pahno ohpe 梁木までの炉鉤 (?)
700-104 б	鍋吊り鉤のついた 木杵	амбахно опні	am pahno ohpe 梁木までの炉鉤 (?)
700-105	へビの形をしたひ げ籠	ціпіе пасю	π は η の誤記であろう。700-105 a 参 照。cinoye pasuy ねじれたパスイ
700-105 a	ひげ籠	цінуе пасю	cinoye pasuy ねじれたパスイ
700-106	炉の炭を掻き散ら す櫛	абé-кіра́й	apekiray 灰ならし
700-107	チョウザメの尾で 作った鞘	цеп кап сая	cep kap saya 魚皮鞘
700-108	ナイフの鞘	самма кірі сая	san makiri saya 小刀の鞘【民総 : サンマ キリ 常に身につけており、腰マキリと もいう】【樺 : 正しくはシーサムマキリ Shisam-makiri 即ち日本人の小刀の義。短 刀状で短く。刃は海豹製のサックに刺

			す。片刃である。】
700-109	スプーン	піто сакусі	pito sakusi ?しゃくし
700-110	子供の玩具	hecі ці есі нопі	hekaci esinohpe 子供がそれで遊ぶもの =子供の玩具
700-112 a	貂皮を乾かす杵	хойну цінні	hoynu cin nii テン皮干し具
	本体股木部分：хойну цінні		同上
700-113	太刀の模型	ні емусь	nii emus 木の太刀
	本体 なかご（柄に差し込む部分）：осорó 目釘穴：осоро кус пуй 刀身：ні эмусь 鑄筋：нінай 刃文：це кай аты 帽子（先端）：эрубоки		osoro 尻 osoro kus puy 尻を通る穴 nii emus 木の太刀 nii nay 木の溝 ciekay atuy 「先の折れた海」というこ とで、「波頭」を表しているか？ erupoki 先端
700-114 a	根掘り用の棒	сё ейкі куá	soyoyki kuwa 外出用の杖（?）
700-115	イナウ		
	本体側面：цьке инау сусу 製		cike inaw 削られたイナウ（?） また は kike inaw キケイナウ（?） susu 柳
700-116	棒		
	本体側面：уэномай 台帳：цьпорун		uenomay 不明 cip or un 舟の（?）
700-121	白樺樹皮の帽子	тат кондзі	tat konci 樺皮の被りもの
	本体内側：тат кондзі		同上
700-122	棒	касай-ні	ka say nii 糸巻き機
700-122 a ?	角材	касай-ні	ka say nii 糸巻き機
700-123	糸巻用板	ітурені	itureni 不明
	本体側面：ітурэні		同上
700-125 /2	日本の舟の模型	ні цеп хеціри	nii cip heciri 木の舟の玩具
700-126	凹みのある石。喫煙 用炭火入れ	іку-сума	iku-suma 喫煙する石=灰皿（?）
700-127	乾燥した茎	стуругіна	siturukina ハナウド【分： ハナウド （樺太各地）】
700-128	ヤハズゴボウの茎	обатора	opahtara ウド（?）【分： ウド（真 岡）】
700-129	枕	ціцубу макура	cicipu makura たためる枕
700-130	弓付きのボート錐	ікісаф	ikisah 錐
700-132	煙草入れ	ках кума,	kahkuma タバコ入れ

		ках комо	kahkomo タバコ入れ
700-132 a	巾着	ках кума	kahkuma タバコ入れ
700-133	小鞆	меро	mero または miro 【Словарь : миро 火口と火打ち石用の皮製小カバン】
700-133 a	小鞆	меро	mero または miro
700-134	糸巻	итомакi	糸巻き (日本語)
700-135	男性用巾着	кіндзі	きんち (やく) (日本語) か?
700-137 /5	古い刺繍	карюгу	karuku(?) 不明
700-137 /5	古い刺繍	карюгу	karuku(?) 不明
700-137 /5	古い刺繍	карюгу	karuku(?) 不明
700-137 a /4	刺繍見本	карюгу	karuku(?) 不明
700-137 a /4	刺繍見本	карюгу	karuku(?) 不明
700-137 a /4	刺繍見本	карюгу	karuku(?) 不明
700-138	巾着	туёмар	ruyomar 砥石入れ
700-139	小物入れの木製引き出し箱。老人の枕にもなる。	це енунуі інуморó	cieninuy inumoro 枕にする煙草入れ
700-142 a・ б/2	靴とかんじき	тесьма	tesma かんじき
700-145 /3 а	ピストン付き煙管 (玩具)	топ-ціáппі	top ciahpe 竹製の弾き具(?) < top 「竹」ci-「自ら」ah (ak)「射る」pe「もの」
	本体 : топ-ціáппі		同上
700-145 /3 б	ピストン付き煙管 (玩具)	топ ці аппі	top ciahpe 竹製の弾き具(?)
700-146 /2	玩具(子供の矢) 2 点	heckaci heciri ай	hekaci heciri ay 子供の玩具の矢
700-147	鮭捕りの鉤針	кангі	かぎ (日本語)
700-151	女性用靴のつま先 (作りかけ)	цёмба кірó	ciyompa kiro つま先の縮められた靴
700-153	子供の玩具	це сінопі, че heciri	ciesinohpe 遊び道具 ciehecirih 遊び道具
700-154	脂入れ	ума пісі	uma pise 馬の胃袋
700-155	鞘入り男児用ナイフ	инау соку	inasaku イナサクマキリか? 【Словарь : инасаку アイヌの大きなナイフ】【民総 : 両刃の小刀は一種類しかなくイナサクマキリという。よく漁師が腰に下げる小刀で、縄切りやちょっとした細工に用いる】【樺 : 木を割るに用ひ

			たり、食事の時ナイフ代用とする。長さ六寸乃至八寸、巾八分乃至一寸、右腰につける。単にマキリともいふ。双刃である。】
700-156 a・ 6	鞘入りイナウ用ナイフ	цейги макірі	ceyki makiri チェイキマキリ【民総：イナウケマキリというのは、ていねいな言葉で、普段はチェイキマキリといい、木幣を削るほかに細かな細工にも使用する】【樺：正しくはチェイクマキリ (Cheh-ik-makiri) であらう。チェイクは魚の背骨で、背骨のように細長い小刀の義である】
700-157	子熊の首輪	ісо чанá	iso hana 熊の首輪【樺：犬轡は轡・犬・ ^{ハナ} 首輪・曳綱・棍棒を合したものをいふ】
700-158	股引	сета опомбі	seta oponpe 犬皮製の股引
700-159	焼串	іманіт	imanit 焼き串
700-162	女性用の毛皮服	окко	okko 女性用海豹皮製衣【住：oxko 海豹皮製衣 主として女子の冬期衣服に用い、銀行などにもこれを着て行く】
700-163	莫菴織り機	ітеса-ні	itesenii ござ織り機
700-164	槽形容器 (模型)	сета ой бікісь кіці	seta 「犬」 oype 「～で食事する」 kis < ki p 「～するもの」 = 「犬の食器」 (?)
	本体内側に：сетанкй 本体底部：асама		setanki 不明 asama 底
700-165	犬つなぎの模型	сета кохні	seta kohnii 犬つなぎ棒
	本体中央の板：сета кохні тунду		seta kohnii tuntu 犬をつなぐ柱
700-166 /2	子供の遊戯用輪 2 つ	hecірі це сінопе	heciri ciesinohpe 子供の遊び道具
700-167	ウニ捕りの銚	та сума	tasuma 不明
700-168 /2	森の丸太搬出用ソ リの滑木 2 本	сюрі, цорі	sori, cori ソリ
700-169 a	乾燥した鳥頭のつ いたイナウ	цькась саба інау	cikah sapa inaw 鳥頭のイナウ
700-171	3本の鉤針つきの 釣竿。鉤針は針金で 竿に固定	цікунаф	cikunah 不明
700-172	寝床の上に吊るす イナウ	сі несьті інау	sieniste inaw(?) 【Bear：(病気の熊の) 檻の近くに低いイナウが立てられ、その後ろに小さなモミの木が置かれる。その

			イナウが <i>senište inau</i> つまり「癒しのイナウ」である】とある。si「自ら」e「～によって」niste「丈夫になる」イナウと考えられるが、あるいはこれと関係あるか？
700-172 a	イナウ	сі несьті інау (синистека)	700-172 参照 【Словарь : синистека 中耳炎】
700-173	矢筒の模型(子供の玩具)	ікаюп (некоці hecipi)	ikayup(hekaci heciri) 矢筒。子供の玩具
700-173 a	玩具の矢筒	ікаюп (некоці hecipi)	ikayup(hekaci heciri) 矢筒。子供の玩具
700-174	刀の模型。玩具	емусь(некоці hecipi)	emus(hekaci heciri) 太刀。子供の玩具
700-175	入墨用ナイフ	інуе макірі	inuye makiri 入墨用小刀(?)。【民総：彫刻用に使うのはイヌエマキリと呼ばれる刃先の曲がったマキリで、・・・おもに木鉢、食器などの湾曲した面を削る時に使う】
700-176	女性用木枕	махніку кіро маф	mahnekuh kiri omah(?) 女性の kiri「すね」oma「ある」h「もの」(?) 台帳にある「膝の下にあてがう」に相当するか？
700-178	ニシン脂	герокі ке	herohki kee ニシンの油
700-179	トドの脂	ібе ке	ipe kee 食用油
700-180	削りかけに布を巻いた男性用鉢巻	інау hetom moib	inaw hetomuyep イナウの被りもの。【民Ⅱ：ヘトムイエヘ 鉢巻】
700-181 a	女性用鉢巻	ке ігатусь hetom moib	? hetomuyep ? 鉢巻
700-184	男性用鉢巻	орікон hetom moib	orikon hetomuyep スゲ製の被りもの 【分：orikon オオカサスゲ 稗(白浦、真岡)】
700-185	女性用鉢巻	інау hetom moib	inaw hetomuyep イナウの被りもの
700-186	女性用鉢巻	оррігон hetom moib	orikon hetomuyep スゲ製の被りもの
700-187	女性用冬の鉢巻	тетусь hetom moib	tetus hetomuyep 不明
700-188	女性用鉢巻	махнеку hetom moib	mahnekuh hetomuyep 女性の被りもの
700-189	女性用冬の鉢巻	росе hetom moib	rohse hetomuyep 「リス皮の被りもの」 【分：roxse, rosse カラフトリス(シラウラ、タラントマリ)】

700-190	女性用鉢巻	лямбі роце хето моіб	riampi rohse hetomuyep ?リス皮の被り もの
700-193	女兒の首飾り(お守り)	коньдзво рекутумбі	konciwo rekutunpe ?頸飾帯
700-194	女兒の首飾り	коньдзво реку тумбі	konciwo rekutunpe ?頸飾帯
700-195	腹紐	рам моіп	rammuyep 下方に巻き付けるもの(?)
700-196	腰痛の際に腰に結ぶ細帯。真中に大きな木製のボタン(太陽)が縫い付けてある。	тумам арака кусурі	tumam araka kusuri 胴体の痛みの薬
	本体木片裏側：тумам, арака кусурі		tumam, araka kusuri 胴体、痛みの薬
700-197	脇腹が痛むときの紐	сісінап сісіна кусурі	sisinap 自分を縛るもの sisina kusuri 自分を縛る薬?
	本体前部木片：сісіна кусурі 後部木片：кені製		sisina kusuri 自分を縛る薬? kene ハンノキ
700-198 a・ б・в	子供の玩具	како хецірі	kako heciri カッコウの玩具?
700-201	木こぶの頭のついた杖(玩具)	куа хецірі	kuwa heciri 杖の玩具
	本体頭部：Тарамані製		aramani イチイ
700-203	穴あきの石(恐らく玩具)	пуй коро сумá	puy koro suma 穴の開いた石
	本体裏側：пуйэсума(線で消去) пуй коро сума		同上
700-204	凹みのある石(子供の玩具)	оһосумá	oho suma 深い石
	本体表面：оһосума		同上
700-205	凹みのある石	оһо сумá	oho suma 深い石
700-207	糸に通したアイヌ「イモ」の根茎	пураціна еціпуй	puracina ecipuy 不明
700-215 /2	男性用冬靴	оккао кіро	okkayo kiro 男の靴
700-217	魚干し棚の模型	нарі	nari 干し棚
700-222 2	手製のふいご	пукі	puki ふいご
700-223 a・ б・в	煙管	сума-кисірі	suma-kiseri 石製キセル
700-224	前掛けスカート	онекаре	honekaris 【生：犬橋に乗る際履く袴(ホネカリシhonekaris)】

700-225	ひげ用の篋	оѡѡ нокун ікунісь	oyaw noka un ikunis へびの絵のついた 捧酒篋
700-226	へびの彫り文様の 皿	скарі ні сѣсь	sikari niisos 丸い木盆
700-227 a	女性用下帯	чах чанка	chahcanki チャハチャンキ
700-228 б	おしめ	ук-о	uko 不明
	台帳： поро ук-о 内側の小さなおしめ пон ук-о おしめを抑える紐 ісіна		poro uko 大きな？ pon uko 小さな？ isinah 縛るもの
700-229	おむつカバー	ісіна	isinah 縛るもの
700-230	小屋の模型	камá куця	kama kuca 狩小屋
700-231	病人隔離用の小屋	кі куця	kii kuca 草葺きの狩小屋
700-232	熊檻の模型	ісо цісѣ	iso cise クマの檻
700-233	熊祭りで殺される 熊の耳当て	ціпуно	cipuynu クマの耳飾り
700-234	熊祭りの際の熊の 被物	ісо кірао	iso kiraw クマの角=クマ送りの際にク マにかぶせる帽子
700-235	男性用下帯	атусь чохкі	at us choki 紐つきの下帯
700-237	ひげ用の篋	кемá коро ікуні	kema koro ikunis 脚のついた捧酒篋
700-238	ひげ用の篋	нубурі нука он ікунісь	nupuri noka un ikunis 山の像のついた捧 酒篋
700-239	斧	і керѣ	本体表記を参照
	本体： ікеурѣ		ikewreh 丸木舟を削る斧
700-240	サラナの根の掘り 棒	іпкі куані	ipeki kuwa ni 野草掘り棒【生：ナナカ マド製の野草掘用木鋏（イペキ・クワ ipeki-kuua）】
700-241	雪と土掻きのシャ ベル	каські	kaskeh 土堀棒【民 I：土堀具はカシケ へといい】
700-242	白樺樹皮の器	татанката	tat hankatah 樺製の下げ手無し容器
700-243	柄杓	ках кум	kahkum 水汲みひしゃく
700-244	鞘入り入墨用ナイ フ	інуе марірі	inuye makiri 入墨用小刀？。700-175 を参照。
700-245	男性用曲りナイフ	чѣ ікі макірі	ceyki makiri 小刀。700-156 a・бを参 照。
700-246 б	イナウの複製	сінесьті інау	700-172 参照
	本体側面： сінесьті інау。		同上
700-246 в (a・б)	老女の寝床の上に 吊してあったイナ ウの複製	сінесьті інау	700-172 参照

	本体：一体に копеця もう一体に похко		кореса カモ pohko カッコウ【分：pohko カッコウ（トンナイ、シラウラ）】
700-249	女性用胸紐か下帯	махнеку райсіна	mahnekuh raysina 女性用ライシナ
700-250	男性用胸帯	оккао райсіна	okkayo raysina 男のライシナ
700-251	日本製布地の腹紐 — 2本の細長い紐 から成る	туй сіна	tuuy sinah 腹を縛るもの=腹紐
700-252	布製眼帯	оккао ськахка	okkayo sikahkah 男の目覆い
700-254	日本製布地の四角 帽	конці	konci 頭巾
700-254 а	女性用鉢巻	оріко́н сьпа́ мусь	orikon sapa mus? スゲ製の被りもの?
700-255	足の紐	кема сіна́	kema sinah 足に結ぶもの
700-257	小皿（男児の玩具）	іяте (хекаці хецірі)	iyateh(hekaci heciri) 調理用浅盆（子供の玩具）【住：(otoka に対して) 浅いものは特にイヤハテへiyáxtex<i-atte-p「ものを・置く・もの」と称する】
700-257 г	玩具のスプーン	со орумбе	suorunpe しゃくし
700-257 к	銚（子供の玩具）		
	本体 銚先部： хецірі окку(ф) 軸部： тунасанку 台帳： 「木製尖頭部 (хецірі кіте?) と浮き板 (хецірі окку) と、網 (монімпе) から成る竿— туна́ са́нку 。網はない」となっている。		heciri ohkuh 玩具の銚支柱 tunasankuh(?) 【生：骨の部分を矛の如き特殊な形状の木 (オックフ oxkux) をもって支え、それに適当な長さの棒 (ツ_ナ・サン・ニシ tuna-san-nis) を結へ】 tunasankuh はこの tuna-san-nis と同じものか? heciri kite 玩具の銚先 heciri ohkuh 玩具の銚支柱 monimpe 不明 tunasankuh(?) 上記参照
700-257 м	サケ用の銚（子供の玩具）	хецірі ма́рі	heciri mareh 玩具のマレク
700-257 н	つぶし棒（杵、子供の玩具）	ініна	iniinah 潰し具【方：iniinah きね】
700-258	袖の折り返し	тусака ума	tusa ka omah 袖の上についているもの
700-259 /2	女性用脚絆	махнеку хімпакі	mahnekuh hampaki 女性用脚絆
700-260	巾着	охкаё-ках-комó	ohkayo kahkomo 男性のタバコ入れ

700-261	帽子 (頭巾)	нанці сое һаһка	nan ciesoje hahka? 顔が外に出る頭巾?
700-262	鉢巻	охкаё һетомоі	ohkayo hetomuyeh 男性の被りもの
700-264	日本製布地で作った子供靴	һекаці кіро	hekaci kiro 子供の靴
700-266	子供の胸につけるお守り	цімухпе	cimuhpe 下げ飾り
700-266 a	子供の胸飾り	цімухпе	cimuhpe 下げ飾り
700-270	銚つきトド皮紐	кіге (銚) торара (皮紐)	kite 回転離頭銚 torara 皮紐
700-271	銚の柄	яё	yayo 不明
700-273 /2	文様のある削り角材2点	цісе нуё	cise nuyeh(?) 家、彫ったもの(?)
	本体: 1枚に цісе ну_		おそらく同上
700-274	魚の骨の干し棚 (模型)	муту́х кума́	motoh kuma(?) 魚の骨の干し竿 【Словарь: moto 魚 (カラフトマス、サケ、イトウ) の肉から取り除かれた骨】【生】に詳しい解説がある
	本体: муту́х кума́		同上
700-276	板	і́ча́ське-ні	本体表記を参照
	本体: і́ра́ське-ні		iraske ni 割り木
700-277	冬の家の模型	той цісе́	toy cise 土の家
700-278	ひげ用の筥		
	本体裏面: ні вен сахка 台帳: ні венте сахкани (食べるためのヘラ)		ni wen 不明 sahka 箸 ni wente 不明 sahka nii 箸・木
700-279 a /6	ゲーム	і́ко́ні ру́ське	本体表記からは ukonituspe→uko-nit-uspe「互いに棒を刺すもの」という解釈が考えられるが、【List: ukoni roski ゲーム。参加者は各々3本の小さな棒を持つ。その棒を板の上のひとつの穴から別の穴に移しながら、一列になった3つの場所をすべて占領することを目指す】とあるのを見ると、どちらの表記も違っている可能性がある
	本体上面: у́ко́ні ру́ське		上記参照
700-282 a・ 6	毛皮と樹皮を加工する道具	капу́тані му́кара	kaputanii mukara 皮叩き木、斧【生: kaputani といふ2種の具 (1つはムカラ mukara といふもので擦る具であり、他は

			チトホパニ citoxpani といふ木の上に切り込みを数カ所つけてゐる】
	本体 a) の上面 : капутані b) の側面 : капутані мукара 台帳 : капу-皮 ; танні-白樺 ; мукара-斧		kaputanii 皮たたき木 kaputanii mukara 皮たたき木の斧 tanni は記入者の誤解と思われる
700-283	釣り糸を巻き付ける板		
	台帳 : コマイの釣竿につける板 (канкай-a)		kankay-ah 「コマイの釣り針」かと思われる
700-284	莫藎	cēgo тескіф = атуц сēго	soho teskeh ゴザを織ったもの (?) atus soho は「厚司のゴザ」で、シナ皮の文様を指しているのではないか
700-286	子供の帽子	hekaці haхka	hekaci hahka 子供の帽子
700-287	産婦の胸紐	то ат	too at 乳紐【List : to at 母親がミルクが出ない時につける胸のサポーター】
700-288	女性用の頸紐	махнеку рекутумбі	mahnekuh rekutunpe 女性の頸飾帯
700-289	子供の腕環	hekaці тесіна	hekaci tehsinah(?) 子供の手に結ぶもの
700-290	文様	sіkіrі	sikiri 模様【Словарь : сикири 模様】
700-291	乳児用の紐	hekaці сіна	hekaci sinah 子供用の体を縛るもの
700-292	女性用帽子	махнеку haхka	mahnekuh hahka 女性用帽子
700-295	鉢巻。日本製柄布	цекусі сенкакі (hoцімок)	ciekusi senkaki 自分の頭に通す木綿布 hocimok 鉢巻 (日本語)
700-297	子供用ズボン	hekaці опомпі	hekaci oponpe 子供のももひき
700-298 /2	夏用手甲	матуіры	matumere(?) 手袋 (?)
700-299 /2	男性用股引き	охкаё опомпе	ohkayo oponpe 男の股引
700-300	男性用下着用のマ ネキン	атуць тєпа	atus tepa 厚司の下帯
700-300	男性用下帯	атуць тєпа	atus tepa 厚司の下帯
700-301	下帯	hekaці чах чанкі	hekaci cahcanki 子供のチャハチャンキ
700-304	植物 (茎)	акась	不明
700-305	エゾマツの根	міціро	meciroh エゾマツの根 (製の紐)【分 : mechirox エゾマツ 枝根 (白浦・真岡)】
700-307	子供の弓用の矢	hekaці ку	hekaci kuu 子供の弓
700-308	お守りのついた女 性用首飾り	ні цімувке махнеку	nii cimuhke mahnekuh 木を下げた女性
	本体円盤裏面 : ні цімувке рекутумбі 女性用		nii cimuhke rekutunpe 木を下げた頸飾 帯

700-309 /2=2	スキー	сьту	situ スキー
700-310	丸太イナウ	хумпе інау	humpe inaw クジラのイナウ【List : humpe inau 海岸のクジラが岸に乗り上げていているところにたてるイナウ】
700-311	大きな棒イナウ	ісо інаў	iso inaw クマのイナウ
700-312 /3	イナウ3点	сакі інау	sake inaw 酒造りのイナウ
700-315 а б в	仕掛け弓	хойну юрў	hoynu yuru テン用の仕掛け弓
700-316	貂捕毘の模型(原カードより)		
	本体：湾曲した内面の端	рэўка	ruyka 「ワナの橋の部分」と思われる
700-319	女性用脚絆	помбакі	ponpaki はばき(?)
700-320	腕輪	тесі напо	tehsinapo 手甲
700-321	女性用鉢巻	hetомое	hetomuyeh 被りもの
700-322	留め具つきの手甲、日本製	кас'пі котé	kaspi kote(?) koteは「小手」か?
700-323	子供のバケツ	татан кота	tat hankatah 樺製の提げ手無し容器
700-324	女性用煙管	ні кісірі	nii kiseri 木製キセル
	本体：кініні 製		kikinni(?) エゾウワミズザクラまたはナナカマド(?)
700-326 /2	手甲	мой сина́	moysinah 手甲【民Ⅱ：モイシナハ 腕まき】
700-381	火の主へのイナウ	унгі інау	unci inaw 火の神のイナウ
700-390	仕かけ弓		
	本体：эсаман юру		esaman yuru カワウソ用仕掛け弓
700-391	固めたもの	кіу цітакут	kiw citakup ウバユリを固めたもの最後の r は n であった可能性あり
809-6/2	仕かけ弓2本(千島)	чані-ку (弓) јарі-ку (仕掛け弓)	cane ku 不明 iari ku 仕掛け弓
809-7a	毘の脚2本。一端は尖り、他端には溝あり。仕かけ弓の部品	кукупані	ku kupa ni 弓をくわえる木
809-7 ж	自動弓の矢の筒	понукту	pon kutu 小さい矢筒
809-7 e	人形の彫り文様棒。自動弓の一部	кубикарип	ku pakari p(?)【生：次に狙ふ獣によって矢先の高さが違ふ。これを決めるにはイパカリニ(i-pakari-ni「ものを・計る・木」を用ひる】とあるものに相当するか?

809-7 т/3	809-6/2 仕掛弓 の部品	куакап	ku aka p 不明
809-19	スプーン	ИГИТЬ	ikicci 不明
811-3	弓		
	台帳：弓— ку 弦— ку-ка		ku 弓 ku ka 弓の糸
811-7	煙草入れと煙管を 吊すための板	ксири тумам	kiseri tumam キセルの胴体
811-10	飲酒時にひげを支 える籠	икубаси	ikupasuy 捧酒籠
811-11a	ひげ用の籠	икубаси	ikupasuy 捧酒籠
811-11b	ひげ用の籠	икубаси	ikupasuy 捧酒籠
811-11c	飲酒用籠	икубаси	ikupasuy 捧酒籠
811-11d	ひげ用の籠	икубаси	ikupasuy 捧酒籠
811-12, a	袋付きの矢筒	икајупу	ikayup 矢筒
811-14	大きなイナウ	сино-инау	sino inaw 大きなイナウ(?)。811-14 と同じく situ inaw の可能性も
811-15	小さなイナウ	ши-го инау	situ inaw 棒イナウ
	本体 胴部：шито инау 頭部：саба 胴部：тумамъ (тумам) 脚部：кема		situ inaw 棒イナウ sapa 頭 tumam 胴体 kema 足
811-22 /2	銚頭2点、骨製ソケ ット入銅製	кте аці	kite aci 回転離頭銚の?
829-276	細帯	анеку	aane kuh 細帯
829-327 a	イナウ付きファイリ アザラシ像	атуй кун камуй инока	atuy kun kamuy inoka アザラシ神の像 【分：atuykunkamuy アザラシ(シラウ ラ)】
829-327 б	イナウ付きファイリ アザラシ像	атуй кун камуй инока	atuy kun kamuy inoka アザラシ神の像
829-328	アザラシの頭を叩 く槌	кей пусі не	keypusi ni(?) 不明
829-329	帽子	инау рах касá	inaw rah kasa イナウのつばの笠(?)
829-330	男児用毛皮外套	имаре h по русь	imarehpo rus 子供の毛皮
829-331	毛皮剥ぎ用スクレ ーパー	ирьсе піпа	irise pipa むしりとり貝殻
	本体表面：ирьсе піпа		同上
829-332	ひげ用の籠	атуй самэнэ	atuy sam ene kamuynomi ikunis 海岸に向

		камуй номі ікунісь	かつてカムイノミする捧酒篋
	本体 裏面：атуй самэнэ камуй номі ікунісь 表前部の彫り物：помпе 後部の彫り物に：пакуй		атуу сам ене камуупоми ікуніс 同上 ponpe ゴマフアザラシ【分：ゴマフアラシの当歳仔（タライカ）；同二、三歳獣（シラウラ）】 pakuу ゴマフアザラシ【分：ゴマフアザラシの成体（タライカ、シラウラ）】
829-333	ひげ用の篋	метохката іномі ікунісь	metoh ka ta inomi ikunis 山の上でお祈りする捧酒篋
829-334	ひげ用の篋	цкох-нока-ун- ікунісь	cikah noka un ikunis 鳥の像のついた捧酒篋
829-335	キツネ捕り用二股の模型	цякама	【List : cakoma キツネを捕らえるためのフォーク状の柱】【Словарь : кама テン用の春のワナ】
	本体表面：цякама		同上
829-336	大きな深鉢	моро	mogo 【Словарь : моро 大きな木皿】
829-338	イナウ	ціб інау (опокай сапа русь)	cip inaw 舟のイナウ opokay sapa rus ジャコウジカの頭皮
829-339	雄熊用帯	пінне-куф	pinne kuh 雄の帯
829-340	熊送り儀礼の際の雌熊用帯	куцяя-ку	kucan kuh 雌熊の帯
829-341 а・ б	穴あき木片とボート錐	ні ікіся	ikisani 「錐」の誤記と思われる。
	本体 先端部：ікіся 胴部：ні ікіся-ніці 末端部：ікіся-оай 板：ікарапа		ikisah 錐 ikisanici 錐の柄 ikisa-o-a-i 錐の尻が座るところ？ ikararapah 上を押えるもの？
829-345 а・ б	カレイ捕用釣針	кабарю	kapariw カレイ
	本体 鉤：ах-он 竿の一端：кабарю-а もう一端：тусьні 台帳		ah hon 鉤の胴部【住：ax-hon（釣針の）胴】 kapariw ah カレイの針 tusnii 釣竿

	a) іда-тусь-ні b) ах-он c) ах-іто		ita tusnii 板状の竿 ah hon 鈎の胴部 ah ito 鈎の紐
829-347	槍	ём-о	yoma 【住：joma 山丹渡りの鉄槍】
829-348 a・ 6	コクチマス(リノツク)用釣針	кімун-це-а	kimun ceh ah キムンチェヘ(魚名?)の釣り針(?)
	本体 a) 竿：тусь ні b) 板：кімун це а 1) ах пэкани=руф янке		tusnii 釣竿【生：片手には釣針を垂れたナナカマドの枝で作った柄(ツ _ス ・ニtus-ni)を持ち】 kimun ceh ah キムンチェヘの釣り針 ah pekanii 鈎を受ける木 ruh yankeh 氷を上げる 【生：梯形の板をアハ・ペーカ・ニ ax-peka-ni 又はルフ・ヤンケへ ruh-jankex ともいふ】
829-349	大フォーク	кіто суке нісь	kito suke nis ギョウジャンニクを調理する串
829-351 a・ 6	キツネ用罾の模型	сумарі эцёро	sumari ecoro キツネわな
	本体 槌状先頭部：эцёро-ні 柄部：ітаукені		ecoro nii わなの木 itawke nii 叩き木
829-352	彫り物用板	іраске ні	本体表記参照
	本体表面：іраске ні		iraske nii 薄く割った木(?)
829-354	男児服	імарехпо імі	imarehpo imi 子供の着物
829-356	女児服	мірокупо імі	merokopo imi 女性の着物
829-357	腹帯のついた女性用脚絆	махнеку-опомпе	mahnepuh oponpe 女性用のももひき
	ラベル：махнэку-опомпе		同上
829-358	男児用脚絆	імарехпо опомпе	imarehpo oponpe 子供のももひき
	ラベル：імарэхпо опомпе		同上
829-359	子供の袖なし	этохнуе	etohnuye(?) 不明
	ラベル：этохнче		同上
829-362	帯	эмусь-а	emus ah 刀下げ帯
829-363	舟の舳先の飾り	аціура	atuy rah 海の羽(?)
	本体 海獣の文様：ціп ани камуй 鳥の文様：сарорун		cip ani kamuy 舟を支える神(?) sarorun 鶴

	空白部分 : сiсь тух сiрi		sis tuh siri 不明
829-364	帯編み機		
	аһуннісь камаса кустайгі ні куф-су пэка ёгусь-ні		ahun nis 入る串=籽 kamasah (糸を)開けるもの kuh sitayki nii 帯を打つ木 kuh suh 帯の根元(?) peka (糸)受け yotus nii 不明
829-365	フォーク	кітб-э-нісь	kito e nis ギョウジャニンニクを食べる串
829-367	袋	кентомусьпі	【List: kentomuspe 女性の小物を入れる pessamus で編まれた袋】
	台帳 : スゲ пессамусь製		pessamus カサスゲ【分: カサスゲ 茎葉(シラウラ)】
829-368	男性用手袋	матумерэ	matumere 手袋
829-369 a	トンカリの弦	пумпе рысь	humpe rus クジラの皮(?)
829-370	帽子(冠物)	цькап һаһка	cikap hahka 鳥帽子
829-371	裕福な女性の着物	кахкема імі	kahkemah imi 貴婦人の着物
829-372	帯	пайку	hay kuh(?) イラクサの帯(?)
829-373 a	シャマンの鉢巻	найборойбо	nauroroybo 不明
829-373 б	シャマンの鉢巻	найборойбо	nauroroybo 不明
829-374	首の紐	реку тумбі	rekutunpe 頸飾帯
829-375	子供用帯	пекаці ку	hekaci kuh(?) 子供の帯(?)
829-376	細帯	анэку	aane kuh 細帯
829-378 a	帯	поцяту	rocatu 不明
829-378 б	帯	поцяту	rocatu 不明
829-379	着物	опіш-ах-русь	opiw ahrus オヒョウの厚司
829-380	非常に重要な人物の着物	сонно айну несьпа ахрусь	sonno aynu nispa ahrus 本当のアイヌの長者の厚司
829-381	子供の犬皮脚絆	пекаці сета опбмпе	hekaci seta opompe 子供用犬製ももひき
829-384	紐	ікусьне-а	ikusne ah 不明
829-387	二重の前掛け	оссоро	【List: ossoro 月経の際に裸の体に後ろから結び付ける女性のエプロン】 osoro 「尻、陰部(当て)」と思われるが、あるいは uhsoro 「懐、下紐」かもしれない
829-391	靴	эту коро кіро	etu koro kiro 鼻先のついた靴
829-392	女児着物	пом мірокупо кая	pon merokopo kaya 小さい女の子の魚皮衣

829-394	イナウ	аунка цка інау	aunka cikah inaw アウンカ鳥のイナウ 【Словарь : аунка まだらの海がも】
829-395	二股の枝か根で作られ、削りかけを巻きつけたトド像	етаська інока	本体表記参照
	本体 : этасьпе інока		etaspē inoka トドの像
829-396	熊の像	ісо інока	iso inoka クマの像
829-397	火口の片	энуруку	enuruku 不明
829-400 a	蓋付き矢筒	ікаюф пуга эмум (а)	ikayuh puta 矢筒の蓋 emum 頭をふさぐもの (?)
	本体 筒部底面 : осісо такхе 側面 : сетуру 蓋部 : эмум		osiso takhe 不明 seturu 背中 emum 頭をふさぐもの (?)
829-401	矢	етанто ай	etanto ay 【List : etanto (子供の玩具の弓) 用の木製の矢】 【Словарь : етанто 先端が棍棒状の矢 (ラ・ペルーズからの引用)】
829-402	矢	цъкап рапусь ай	cikap rap us ay 鳥の羽のついた矢
829-403	玩具	тунакай хецірі	tunakay heciri トナカイの玩具
829-404	貂用罝。木は「vekhta」	хойну ка	hoynu ka テンのわな
829-406	刀帯	ні эмусь	nii emus 木の太刀
829-410	熊の給餌器	ісё ціоўне	iso cioyneh クマの食器
	本体 胴部側面 : осаре 柄部 : такома		osare 不明 takoma 不明
829-412	ニシン漁のたも網	тасірі	tasiri 【Словарь : тасири (魚用の) たも網】
829-414	鮭皮	цухце-ка	cuhceh kah 鮭の皮
829-415 /2	鱒の皮	һмойка	hemoy kah カラフトマスの皮
829-416	イトウの皮	цірайка	ciray kah イトウの皮
829-417	鯉皮の靴の甲	ціраські ках кіро	ciraski kah kiro ?の皮の靴
829-418	白樺樹皮の松明。火縄	цъкар-іта́	cikari tah 巻いた樺皮
829-419	器	рапусь іякте	rapus iyahteh 羽のついた浅い調理盆 κ は x の誤記である可能性あり【注 : 長さ 7 糎、巾 30 糎、深さ 15 糎位の長方形舟型木製器であって、両端に取手があ

			り、これに彫刻を施している。・・・東海岸ではこの器をオトカ otóka といい、・・・浅いものは特にイヤハテへiyáxtex と称する】
829-420	槽形の深い器	отока	otoka 調理盆。829-419 参照
829-421	杵	ініна	iniinah 潰し具【方：きね iniinah】
829-422	曲り木の水桶	ні агусь	niatus 樹皮製手提げかご
829-423	袋	мунтара	mun tara 草製俵
829-426	スキーのストック	сьгу коа	suto kuwa スキーの杖
829-428	石錨のついた丸太	пату	patu 【生：海豹猟の1つの方法として、浮木捕がある・・・岸から程遠くない海上に、長さ8-9尺、直径1尺位の榎松の空洞木(ネへnex<net, 白浜より以南ではパツ patu と呼ぶ)を浮べ】
829-429	杭上納屋の模型	ікеурех-пу	ikewreh pu 割り斧、倉(?)
829-431	縄	кіа кайта	kia kayta ?縄【Словарь：кайта ロープ】
829-432	(祭の)熊用の背負子	цяхка	cahka 不明
829-433	口つき築の模型	урай	uray 築
829-434	遊び用の輪	карісь	karis 輪
	本体：карісь		同上
829-435 /2	輪遊びの棒	карісь коа	karis kuwa 輪突き遊びの棒
	本体：карісь коа		同上
829-436	貂用罾の模型	хойну эңеро	hoynu ecoro テンのわな
829-437	織機(袋入り)	опіконе	opikone 不明
829-439	小型定置網	чіамо я	ciama yaa 置かれる網
829-440 а・ б・в	氷の下の魚捕り具の模型	тонко-я	tonko yaa ?網
	本体展示用台：текаруки		tekaruki 不明
829-443 а	イナウ	пумпе інау	humpe inaw クジラのイナウ。700-310を参照
	本体脚部：クジラに(露語)		
829-443 б	イナウ	пумпе інау	humpe inaw クジラのイナウ。700-310を参照
829-443 в	イナウ	пумпе інау	humpe inaw クジラのイナウ。700-310を参照
	本体脚部：クジラのために(露語)		
829-444 а	イナウ	ісё цісе	iso cise osmakus クマ檻の後ろに立てる

		осьмакусь	
829-444 б	イナウ (手は1本、差し込み頭部なし)	ісѣ цісе осьмакусь	iso cise osmakus クマ檻の後ろに立てる
829-444 в	イナウ (1本手で、差し込み頭部なし)	ісѣ цісе осьмакусь	iso cise osmakus クマ檻の後ろに立てる
829-445 а	イナウ	серемах мон касiо інау He : серемах манка тусу інау	seremah mon kasuy inaw【List : seremah mon kasu inau cup inau と同時に並べて立てるイナウ】文字通りには「背後神を手助けするイナウ」 seremah manka tusu inaw 背後神を？トウスするイナウ (He : の意味は不明。前者を誰かが解釈しなおしたものと思われる)
829-445 б	イナウ	серемах мон касiо інау He : серемах манка тусу інау	829-445 а 参照
829-446	イナウ	цюф-камуй інау	cuh kamuy inaw 太陽神のイナウ
829-447 а・ б	イナウ	цікуса інау	cikusa inaw 【List : cikusa inaw アザラシ猟やニシン漁の季節の前に、海の神への捧げものとして海へ投げ入れるイナウ】文字通りには「(舟で) 運ばれるイナウ」
829-448	火のイナウ	ундзі-інау	unci inaw 火の神のイナウ
829-449 а (1-2)	棒、木鉤、削りかけを束ねたイナウ	нау кесъ амба інау	nawkes anpa inaw 【List : naukes amba inau サケが上る川の上流にたてるイナウ。人間に魚を授ける神への捧げものである】文字通りには「削りかけの端を持つイナウ」
	台帳 : кесеамба—ベグレルを狩る。науはナイ (=川) のことではないか		keseanpa を「追いかける」という意味だとしている。この台帳の記述はおそらくピウスツキによるものではない。
829-449 б	樹皮に6つの切り込みと差し込み頭部のあるイナウ	цеп еhte камуй охта інау	cep ehte kamuy ohta inaw 魚をよこすカムイへのイナウ
829-449 в	4本のイナウを縛り合わせたイナウ	цеп еhte камуй охта інау	cep ehte kamuy ohta inaw 魚をよこすカムイへのイナウ
829-449 г	4本のイナウを縛	цеп еhte камуй	cep ehte kamuy ohta inaw 魚をよこすカ

	り合わせたイナウ	охта́ інау	ムイへのイナウ
829-450 а・ б・в・г	イナウ	цімонте інау	cii monte inaw ペニスを立たせるイナウ
	本体：インポテンツ（露語）		
829-451	イナウ	ціренте інау	cii rente inaw ペニスを沈めるイナウ
829-452 а・ б	イナウ	ітах сірі інон іта́ інау	itah siri 【List: itaxsiri まだ祈りができないのにそれを要求された若者が立てた大きなイナウに、差し込む小さなイナウ。itaxsiri とは「言葉の代わり」の意】 inon'itah inaw 祈りのイナウ(?)
829-453	イナウ	сета сапа інау	seta sapa inaw 犬の頭のイナウ【List: seta sapa inau 誰かの病気のために殺した犬か、ソリ犬が死んだ場合に立てるイナウ】
829 454	イナウ	цісь эт пу інау	cise ru inaw 家への道のイナウ(?) (本体ロシア語を参照)
	本体胴部：家への道（露語）		
829-455 а・ б・в・г	イナウ	нох інау	noh inaw 陰囊イナウ
	本体脚部：陰囊（露語）		
829-456 в	イナウ (家の老神)	со пауць інау	sopa us inaw 上座に立てるイナウ (家の神のイナウ)
829-456 а	イナウ	со пауць інау	sopa us inaw 上座に立てるイナウ (家の神のイナウ)
829-456 в	イナウ	со пауць інау	sopa us inaw 上座に立てるイナウ (家の神のイナウ)
829-456 д	イナウ	со пауць	sopa us (inaw) 上座に立てるイナウ (家の神のイナウ)
829-457 а	イナウ	то цяра інау	too cara inaw 湖の口のイナウ 【List: to cara inau 湖の神への捧げ物として湖から川への出口のところに立てられるイナウ】
829-458	イナウ	сакі інау	sake inaw 酒のイナウ 【List: to cara inau 湖の神への捧げ物として湖から川への出口のところに立てられるイナウ】
829-459 а	2本の「手」と両端に4つの刻み目と真ん中に3つの刻	кімо-інау	kimo inaw 山のイナウ 【List: kimo inau アイヌが住んでいる土地の統治者である神を称えるために立てられるイナ

	み目、削りかけの差し込み頭のあるイナウ		ウ】
829-459 6	イナウ	кiмo-inaу	kimo inaw 山のイナウ。829-459 aを参照
829-459 B	通常の刻み目3つと脇に上向き突起1つあるイナウ、上部は樹皮がなく、削ってある。	кiмo-inaу	kimo inaw 山のイナウ。829-459 aを参照
829-460 a	3本のイナウを縛り合わせたイナウ	цiсe coгoсь inaу (coпaгoсь ?)	【List: cise sojus inau 村を守る神への捧げ物として家の裏に立てるイナウ】とあるものと同一物ではないか？ () 内は誰かが sopaus inaw と解釈しようとしてつけたか？
829-460 6	3本のイナウを縛り合わせたイナウ	цiсe coгoсь inaу (coпaгoсь ?)	829-460 aを参照
829-460 B	3本のイナウを縛り合わせたイナウ	цiсe coгoсь inaу (coпaгoсь ?)	829-460 aを参照
829-461 a / 6	イナウ2本	oсуке inaу	osukeh inaw ウサギのイナウ
829-462	イナウ	ундзi реп унке епусiсь	unci repunke epusis 【List: undzi repunke inau 長老が囲炉裏のそばで祈りを上げ、米の酒の滴を振りまいている間に、火の女神への捧げものとして、火中に投じて燃やすイナウ】文字通りには「火を沖に出す穂状イナウ」
	本体下端部：海の神へのイナウ（露語）		
829-463 /1	イナウの一部 (kema)	кема	kema (イナウの) 足
829-463 /3	イナウの一部 (kalka)	калка	kalka 不明
829-463 /5	イナウの一部 (kema)	кема	kema (イナウの) 足
	台帳：頂点は樹皮を剥いであり、削りかけの差し込みがある。5つの木偶のついた板の一部で、これはそのものが пох пох inaу каруси というイナウである。		poh poh inaw karusi その下でイナウを作るところ (?)

829-466	魚用の木槌	іся патані	isapatanii (魚の) 頭を叩く棒
829-468	蓐蓐	о май руса	omay rusa 寢床のゴザ【樺: 寢床をオマイ Omai といひ】
829-469	蓐蓐	понтуспе	pontuspe 不明
829-471	ハンノキの樹皮	іху рекані окома	ihurekanii okoma ハンノキの皮【分: ihurekani ケヤマハンノキ(白浦); okoma 鱗状樹皮(樺太)】
	本体: 1) ні 2) окомá 3) кáп		nii 木 okoma 鱗状樹皮 kap 皮
829-478	帯	мун-ку	mun kuh 草製帯
	台帳: オヒヨウ (орікои) の編物、魚皮の縁取り		orikon【分: orikon オオカサスゲ 稗(白浦、真岡)】。実物はガマ製か?
829-482	皿	ісё оцікі	iso ociki クマの膳
829-483	魚皮製帽子	соей кі капахка	soyoyki kap hahka 外出用皮帽子
829-485	火おこしのうちわ	раку(ф)	raku(h) 不明
829-486	小熊用の背負子	цякка	chaka 不明
829-488	カワウソの毛皮乾燥用張り枠	эсаман цінні	esaman cin nii カワウソの皮張り具
829-489 a	箱(器)	хонка та	hankatah 提げ紐無しかご
829-489 б	箱(器)	хонка та	hankatah 提げ紐無しかご
829-491	熊祭の際に熊肉を刺す串	ісё імехні	iso imeh nis 熊肉を分配する串
829-493	弓	ку	kuu 弓
829-494 a	矢	этанто	etanto 829-401 参照
829-494 б	矢	этанто	etanto 829-401 参照
829-495 /2=2	ソリの楫棒	кауре	kawre 犬橈用楫棒【住: káure 犬橈用楫棒】
829-496	ソリ用スキー	осіторун сіту	ositorun situ < o 「その尻に」 situ 「スキーの」 ruu 「道」 un 「つく」 situ 「スキー」か? 台帳には「ソリ道をつけるためのスキー」とある。
829-498 a	鞘入りナイフ	кетері макірі	keteri makiri ? 小刀【Словарь: кетэри Гингитсуне、キツネガエル?】とあるが、関係あるか? 実物は樹皮製鞘。木製柄
829-500 a	乾燥したイラクサの茎	чай-ні	hay nih イラクサの繊維

829-500 б	イラクサの皮膜	ках-мосé	kah mose 皮-イラクサ
829-500 в	上質の皮膜繊維	уф тура рай	【List: uf - tura haj 薄皮を取り去ったが漂白はまだしていないイラクサの繊維】という記述から uhtura hay の誤記と思われる。
829-500 г	イラクサの繊維、漂白して、揉んである。	hai	hay イラクサ
829-500 д	靴を縫う糸	кіро ука ука охока	kiro ukauka ohoka 靴を縫う糸 【Словарь : oгóka 糸】
829-500 е	糸	яянка	yaan kaa 普通の糸
829-500 ж	長靴の脛部用糸	нос ука ука охока	hos ukauka ohoka 脚絆を縫う糸 【Словарь : oгóka 糸】
829-500 з	蓆用の糸	утесека	itese kaa ゴザ編み用の糸
829-501	荷負紐	эхуіке	ehuyke 不明
829-502	袋	ках-тохта	kah tohta (魚)皮製のかます
829-506	仔熊の首輪	ісé секума	iso sekuma 熊の？
	ラベル : ісé секума		同上
829-507	包みと背負子	ісé сікé	iso sike 熊へのみやげもの
829-508	背中を搔く棒	сікійки ні	sikiki nii 自分を搔く棒
829-509	炉の火から靴を保護する板	кіро цясі	kiro casi 靴の柵
829-510	クマ用耳飾りの模型	ціпуйно нока	cipuyno noka 熊の耳飾りの像【List : isó-cipujno 縫った柳の削りかけで作った外耳 : クマ送りの際、クマを檻から殺す場所に連れ出す時に耳にしばりつける】
829-511 а б в	カワウソの尻尾の乾燥具	руруй сахке ні	ruru y sahke nii ?を干す木
829-512 б	川のアザラシ用囹の模型。アザラシが日なたぼっこする丸太。	пату	patu 829-428 参照
829-514 в	銚の模型	туна	tuna 銚
829-515 а	野生のパセリ	цібоко	cipoko マルバトオキ。【分 : マルバトオキ (樺太各地)】
829-515 б	乾燥「soropa」の入った袋	ha	hah クロユリ【Bear : ロシア人が sarana と呼び、アイヌ人が hax と呼んでいるものの球根】という記述から見て、soropa

			(soropa) は sarana (sarana) の誤記ではないか?
829-515 в	乾燥オオハナウドの茎の束	цібэре-кіна	ciperekina ハナウド【分: ハナウド(白浦)】
829-515 г	乾燥した茎の束	цібэре кіна ці	ciperekina ci ハナウドの?
829-515 е	食用植物 「tomaru」の乾燥鱗茎	томá	toma エゾエンゴサク
829-515 ж	乾燥した植物の根と茎	ерапась	erapas 【分: オオウバユリ(白浦)】 【Bear: kiw (オオウバユリ) は米と一緒に調理され、erapás という料理になる】
829-515 з	柔らかな鉱物片	кіу	kiw オオウバユリ【分: オオウバユリ(真岡)】実物はオオウバユリの澱粉
829-516	草編みの袋	пон танара	pon tanara?
	ラベル: пон танара		同上
829-517	海カトウイ(アザラシ)の像: 編註「カトウイ」は「カムイ」の誤記か	атуйкаун камуй інока	atuy kun kamuy inoka アザラシ神の像
829-519	マツの細根の束	маціро	maciroh または meciroh【分: mechiroh エゾマツの枝根(白浦、真岡)】
829-520	煙管入れ	кісір о ма́ні	kiseri oma nii キセル入れ
	本体: кісір ома́ні		同上
829-523	柄入り莫産の繊維	ітэсе нокá (台) ітэсе ікусьпе (棒)	itese noka ゴザ織り機の模型 itese ikuspe ゴザ織り機の柱
829-523 а / 2	柄入りゴザの織機用の棒	ітэсе ікусьпе	itese ikuspe ゴザ織り機の柱
829-526	酒用の椀	ітакі	itanki 椀
829-527	酒用漆器	сёмпа ун сіндого	sompa un sintoko 角のついたシントコ
829-528	а) 琥珀のボタン б) 平らなビーズまたはボタン в) ビーズ2点	а) роко-нума б) роко-сеокампе в) роко-тама	roko numa 樹脂製のボタン【ド: rogy (クラブロート・サハリン) 樹脂; (ダヴィドフ) 同】【Словарь: нума 縫付けボタン】 roko seokampe 樹脂製の? roko tama 樹脂製の玉
829-533	樹皮	фурэ ат	huure at 赤いオヒョウ
	添付ラベル: фурэ ат		同上

829-534	黒っぽい樹皮	куросьпэ-от	ラベルを参照
	ラベル：курасьнэ-ат		kurasne at 黒いオヒョウ
829-535	透かし文様のある板	板 - цінуй іта 模様- цэсь сіту	cinuye ita 彫られた板 ces situ 不明
	本体：цінуі іта 模様切り込み部分：цэсь сіту		同上
829-537	大きな像	пороп інока	porop inoka アゴヒゲアザラシの像
	本体：сунку інока		sunku inoka エゾマツの像
829-538	習い初めの少女の刺繍		
	台帳：пукі		puki 不明
829-543	海洋船の模型	поро ціс	poro cis 大きな舟
837-1	貝殻（2片）	мокомаі сей	mokomay sey ホッキガイの殻。【分：ホッキ（白浦、トンナイ、B）】
	本体内側：мокомаі сей		同上
837-2	食用貝の貝殻	тэтах цька сей	本体表記参照
	本体内側：тэтах цька сей		tetah cikah sey。tetah が retah だとすれば、文字通りの訳は「白い鳥の貝」になるが、何を指しているかは不明
837-3	貝殻（半割れ2つ）	ке ка сей	keka sey ?貝
	本体内側：ке ка сей		同上
837-4	貝殻	махсей	mah sey 【分：maxsey-sampe mat（白浦）貝の名。女郎貝？】
	本体内側：махсей		同上
837-5	貝殻（薄手）	сей камара	sey-kapara(?) 【分：sey-kapara（白浦）ホッキの皮に似ている】
837-6	貝殻	аске те	asketeh ホタテガイ【分：asketex（タラントマリ；トンナイ）】
	本体内側：аске-тэ		同上
837-7	貝殻	поро моко-маі похо	poro mokomay poro 大きなホッキ貝の子供？
837-8	食用貝の殻	варапа сей	warapa sey 【Словарь：варапа カキ】
	本体内側：варапа сей、іса		warapa sey, isa 不明
837-9	食用貝の殻2点	уяка сей	uyaka sey ホヤの殻【分：ホヤの類（白浦；拾）】
	本体両方の貝殻の内側：уяка сей		同上
837-10	食用貝の殻片	кeroка сей	keroka sey 【分：kero（様）ヒザラガイの類】と関係あるか？
	本体内側：кeroка сей		同上

837-12, 12 a	貝殻 10点	ниндзі	ninci 巻貝の貝殻【Словарь : ниньчи 巻貝の貝殻】
	本体 ふたつの貝殻の上 : нинджи 小さい貝殻の上 : хорока отокinkeу あ るいは хорока отоканкеу ふたつの貝殻の内側 : нинци		ninci 巻貝の貝殻 horka otokinkey または horka otokankey 不明 ninci 巻貝の貝殻
837-13	食用貝の殻 2点	нунум пірітанэ	nunum piritane 不明
	本体ひとつの貝の殻上 : нунум пірітанэ п???		同上
837-15	薬用の貝殻	порока отоконкеу	poroka または horoka otokonkew 不明
	本体 : порока отоконкеу		同上
839-3	ニレの韌皮	атні	atni オヒョウの木
839-10	韌皮繊維	ні пось ні	nipes ni シナの木
839-11	糸	ні песь	nipes シナ皮
839-12	韌皮繊維	ні песь	nipes シナ皮
839-13	韌皮	ни лесь?	nipes シナ皮
839-14	繊維	ніка ун хай	ni kah un hay 皮のついたイラクサ
839-15	「sarani」の糸の袋	сарані	saranip 背負いかご
839-19	「sikini」の袋	сикині	sikina ガマ
839-27	飲酒者用「shannuj」 魚の冠	шаннуй	icanuy(?) 不明
839-64 a / 9	酒筥		
	本体裏面 : Сікіу 魚 осопраткы		敷生(地名)【分 : osopratki ブリ(シラオイ)】
839-64 б / 9	飲酒用筥		
	本体裏面 : 熊-сеіок-死んだ 魚の頭の皮- ирикай		seiok 不明 irikay 不明
839-64 в / 9	飲酒用筥		
	本体裏面 : 食器 этунуп (этусь поском)		etunup 片口 etus 口のついた poskom 不明
839-64 г / 9	飲酒用筥		
	本体裏面 : айну ципь 魚 таннуй цькоики		aynu cip アイヌの舟 tannuj cikoukip イルカを狩る者=シャチ
839-107 a	イナウの一部		
	本体胴部 : суту інау		sutu inaw 棒イナウ
839-109	イナウ	саке коро інау	sake kor inaw 酒造りのイナウ(?)

	本体頭部 саки саки инау		sake 酒 sake inaw 酒のイナウ
839-110	イナウ	ціхе хоко каке інау	cehorkaker inaw チェホロカケ
839-111	イナウの髪	інау-ру	inaw ru 削りかけ
839-122	帽子	тап-конці (каса йоп)	tat konci 樺製被りもの kasa yop 笠?
839-128 a	木製の魚	кина по	kinapo マンボウ
839-150	メカジキの眼(お守り)	цири-кап	sirkap カジキマグロ
839-155	イナウ	масара коро инау	masar kor inaw 海岸の草原(マサラ)を 守神のイナウ
839-157	イナウ	пет инау	pet inaw 川の神のイナウ
839-159	房の付いたイナウ	пон нуса коро інау	pon nusa kor inaw 小さいヌサの神のイ ナウ
839-159	16の房の付いた イナウの一部	пон нуса коро інау	pon nusa kor inaw 小さいヌサの神のイ ナウ
839-160	イナウ	цивас коро інау	ciwas kor inaw 急流の神のイナウ
	本体末端: цівась 男性のイナウ		ciwas 急流
839-164 /2	イナウ	камуй хуці корь інау	kamuy huci kor inaw 火の神のイナウ
839-166	イナウ	інау-ру(онне торі)	inaw ru 削りかけ onne tori 年寄り鳥(?)
839-168	炉のイナウ	инумпз ирту инау	inumpa irtu inaw 酒搾りの?イナウ
839-169	両耳の付いた箕	ні-муй	ni muy 木の箕
839-185	塗碗	амам корбе	amam kor pe 飯茶碗(?)
839-189	野性小麦	камизи амам	kamici amam ?穀物
839-196	盆	оціке	otcike 膳
	台帳: оціке ранкони製 文様の名前 1) рам-рам 魚のうろこ 2) морэу		otcike 同上 rankoni 桂の木 1) ramram うろこ 2) moreu モレウ
839-198	火の女神、上部は2 カ所削られ、下部は 樹皮付き	камуй хуці отта інау	kamuy huci or ta inaw 火の神へのイナウ
839-200	樹皮(atni)糸の 玉	атні	atni オヒョウの木

839-201	袋	кароп	karop 火打ち石入れ
839-203	漆塗り酒器	патци	patci 鉢
839-205	酒器台	оюсь петъ	oyuspe 酒器
839-207 a・ б	酒籠 (2点)	кике усь басюй	kike us pasuy 削りかけつき捧酒籠
	本体裏面： a) кике(е) усь пасюй b) кике(е) усь пасюй		同上
839-208	皿	нима	nima 木皿
839-210	2本の十字の棒に 巻いた縄	ні песь	nipes シナ皮
839-211	鳥の罾	цякне іккеу	sakne ikkew 不明
	本体台帳：цькаи каарэ уні		sikap kaare ni 鳥のわなをかける木
839-212 /4	イナウ	іворо коро камуй хоць(хучі)	iwor kor kamuy huci 獵場を守る神
839-213 /2	川へのネコヤナギ のイナウ	пет камуй отта сюту інау	pet kamuy or ta sutu inaw 川の神への棒 イナウ
839-214	イナウ	мінтар	mintar 庭
	本体胴部：ру коро камуй - бог дороги сейта ама мінтар інау		ru kor kamuy 便所の神 sey ta ama 貝殻の上に置く (?) mimtar inaw 庭のイナウ
839-215	葦の束	інау коро кі	inaw kor ki イナウ付きの葦
839-216	家神のイナウ	цісе коро камуй інау	cise kor kamuy inaw 家の神のイナウ
	本体胴部：цісе коро камуй інау ороту іна		cise kor kamuy inaw oro tu inaw 家の神 のイナウの二本のイナウ
839-216	イナウ	цісе коро камуй інау	cise kor kamuy inaw 家の神のイナウ
839-217	イナウ (家の女主の イナウ)	цісе коро інау кике ціное інау	cise kor inaw 家の神のイナウ kike cinoye inaw キケチノイエイナウ
	本体胴部：цісе кор інау саке кар отта ась інау кике ціно е інау		cise kor inaw 家の神のイナウ sake kar or ta as inaw 酒造りの時に立て るイナウ kikecinoye inaw キケチノイエイナウ
839-218 /4	炉の囲いのイナウ	інумпа інау	inumpra inaw 酒しぼりのイナウ
	本体一本の胴部：інумпа інау		同上
839-219	川のイナウ	пет орун інау	pet or un inaw 川の神のイナウ
	本体胴部：пет о рун пет інау		pet or un pet inaw 川の、川の (神の) イ ナウ

839-220	イナウ	камуї коро фуці ахыйка інау	kamuy kor huci uhuyka inaw 火の神に (対して) 燃やすイナウ
	本体胴部に :	камуї коро фуці ахыйка інау тасум отта аасі тусакусу ан інау	kamuy kor huci uhuyka inaw tasum or ta aasi tusa kusu an inaw 火の神に対して燃 やすイナウ。病氣の時に立てて、病を治 すためのイナウ
839-221	イナウ	поро. нуса ко ась інау - sake кар отта ась інау. - кіке парасе інау	poro nusa koas inaw 大きなヌサに立て るイナウ sake kar or ta as inaw 酒造りの時に立て るイナウ kikeparseinaw キケパッセイナウ
	本体胴部 :	поро. нуса ко ась інау sake кар отта ась інау кіке парасе інау	同上
839-225 a	女性用頸の紐	рекутумбе	rekutunpe 頸飾帯
839-225 б	女性用頸の紐	рекутумбе	rekutunpe 頸飾帯
	本体飾り板 :	рекутумбе	rekutunpe 同上
839-226	熊肉を吊す鉤		
	本体胴部 :	цеп камуї анунуге	cep kamuy anunuke 魚の神を大事にす る (?)
	ラベル :	цеп камуї ану нуке и ho(?) ока	cep kamuy anunuke ?
839-227	魚を殺すための棒		
	本体胴部 :	цеп кік па інау пакі кні	cep kikpa inaw 魚を叩くイナウ pakikni 頭を叩く棒
839-228	山神のイナウの脚	кім ун камуї інау	kimun kamuy inaw 熊の神のイナウ
839-228	山神のイナウ	кім ун камуї	kimun kamuy 熊の神
	本体頭部に :	кімун камуї інау поро нуса отта	kimun kamuy inaw poro nusa or ta 熊の神 のイナウ、大きなヌサに
839-229	イナウ付きの鳥の 頭	онне цікап	onne cikap アホウドリ
839-230 a	樹皮を剥いでいな い棒、金属飾板	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナ ウ
	本体脚部 :	н__ кам__ нуwap кусу__	n(usa) kam(uy) 幣場の神 nuwap kusu 出産のために
839-230 a	5本のイナウのヌ サ	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナ ウ
839-230 a · б	イナウ	пон нуса коро камуї	pon nusa kor kamuy 小さなヌサを守る 神
	本体頭部 :	пон нуса інау пон нуса коро	pon nusa inaw 小さなヌサのイナウ

	камуй		pon nusa kor kamuy 小さなヌサを守るカムイ
839-230 в	5本のイナウのヌサ	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナウ
839-230 г	5本のイナウからなるヌサ	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナウ
839-230 д	5本のイナウからなるヌサ	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナウ
839-230 е	5本のイナウからなるヌサ	поно нуса, сюту інау	pon nusa, sutu inaw 小さなヌサ、棒イナウ
839-231	イナウ	ну вап кусу ан	nuwap kusu an 出産のための
	本体脚部 : ну вап кусу ан піннэ інау піннэ ну вап камуй		nuwap kusu an pinne inaw 出産のための男のイナウ pinne nuwap kamuy 男性の出産のカムイ
839-232	呻き(?)を見守る神、マツネカムイ(女神)へ、削りかけ、ビーズの首飾り、耳環	нувап інау. ну вап орун інкара камуй отта	nuwap inaw. nuwap or un inkar kamuy or ta 出産のイナウ。出産を見守る神に
	本体脚部 : нувап інау. ну вап орун інкара камуй отта матнэ камуй		nuwap inaw. nuwap or un inkar kamuy or ta 同上 matne kamuy 女性の神
839-233	イナウ	юк-сапа-о-н ціроннуп інау	yuksapaoni 頭骨を掛ける木 cironnup inaw キツネのイナウ
839-233	イナウに包まれたキツネの頭	юк-сапа-о-н ціроннуп інау	yuksapaoni 頭骨を掛ける木 cironnup inaw キツネのイナウ
	本体胸部 : юк-сапа-о-ні		yuksapaoni 同上
839-234	イナウ	пуяра ката ась інау	puyar ka ta as inaw 窓の上に立つイナウ
	本体胸部 : пуяра ката ась інау その後で пет нуса отта умантэ		puyar ka ta as inaw 同上 pet nusa or ta omante 川のヌサに送る
839-237	イナウ	атуй орун ціп а корэ інау	atuy or un cip akore inaw 海の舟に捧げるイナウ
	本体胸部 : атуй орун ціп а корэ інау		同上
839-238	子熊の頭のイナウ	ісебо сапа інау	isepo sapa inaw ウサギの頭のイナウ
839-239	削りかけの束	суруку інау	surku inaw トリカブトのイナウ
839-240	川舟のイナウ	пет орун ціп інау	pet or un cip inaw 川の舟の神のイナウ
	本体胸部 : пэторун ціп інау		同上

839-250	イナウ	ну вап кусу іосьва эк інау	nuwap kusu ios wa ek inaw 出産のために後から来るイナウ (?)
	本体胴部 : ну вап кусу іосьва эк інау піннэ камуі отта учуйка		nuwap kusu ios wa ek inaw pinne kamuy or ta uhuyka 出産のために後から来るイナウ。男の神のところで燃やす
839-253	カワウソのイナウ	эсаман інау. петрун нуса отта	esaman inaw, pet or un nusa or ta カワウソのイナウ。川のヌサで
	本体 先端の紐に結び付けられた木片 : эсаман сапа 胴部 : эсаман інау. петрун нуса отта		esaman sapa カワウソの頭 esaman inaw. pet or un nusa or ta カワウソのイナウ。川のヌサのところに
839-254	イナウ	цькап по інау рай ки якун ані номі інау поро нуса отта	cikappo inaw, rayke yakun ani nomi inaw, poronusa or ta 小鳥のイナウ。(小鳥を)獲ったらこれで祭るイナウ。大きなヌサで
839-256	イナウ	апа сям ун інау	apa sam un inaw 戸口の神のイナウ
839-259	死者の「手甲」(手袋の一部)	тек ум пе	tekunpe 手甲
839-260	死者を縛る紐	уток и ат	utokiat 墓標に巻く紐
839-261	縄	этому сара	erum sar ネズミの尻尾
839-267	イナウ	цькоп ко інау	cikap ko inaw(?) 鳥の神へのイナウ (?)
839-269	シャマンの木 (模型)	тусок ні	tusokni 綱を掛ける木。通常は熊送りの際に祭場で熊をつないでおく木
	本体脚部 : тусокні(模型) сусу 製		tusokni 同上 susu ヤナギ
839-269 a	シャマンの木のイナウ (模型)		
	本体頭部 : хэпэрэ кем усі 胴部 : тусокни інау		heper kem usi 子熊の血をつける tusokni inaw 熊送り祭場の熊つなぎ柱のイナウ
839-270	太鼓のイナウ (シャマンのイナウ)	тукуса інау	takusa inaw 手草イナウ
839-270	太鼓のイナウ (シャマンのイナウ)	тукуса інау	本体表記参照
	本体胴部 : такуса інау		takusa inaw 手草イナウ
839-275 I	イナウ	сета сопи інау	seta sapa inaw 犬の頭のイナウ
839-282	イナウ	юк-інау	yuk inaw 鹿のイナウ

839-293 a	海貝	мокопн	mokopn(?) 不明
	本体貝殻 : мокопн		同上
2803-13 a・b	貝殻	піба	pira カワシンジュガイ
	本体 : піба		同上
2803-27	煙草に似た植物	сібогу	cipoko マルバトオキ【分類 : マルバトオキ 茎葉 (樺太各地)】
2803-28	歯痛の薬	фуря сума と той це	hure suma 赤い石 cietoy 食用土
2803-31	植物の実	томá киртоуэ	toma kirtowe エゾエンゴサクの?
2803-40	貝殻片	отасіп па	ota-seppa【分類 : ハスノスカシパン (幌別)】